

インパクト
コンソーシアム

第2回 データ・指標分科会資料

(2025年11月5日 9:00-11:00)

1. 開会
2. 事務局説明
3. ディスカッションメンバーによる取組紹介【環境分野】（今田座長）
 - 3-1 農林中央金庫
 - 3-2 環境エネルギー投資
4. グローバルヘルスのためのインパクト投資イニシアティブ【ヘルスケア分野】（末吉副座長）
5. ディスカッションメンバーによる取組紹介【ヘルスケア分野】（今田座長）
 - 5-1 オムロン
 - 5-2 U b i e
 - 5-3 日清食品ホールディングス
6. 事務局連絡／閉会

1. 開会



2. 事務局説明

第1回データ指標分科会アンケート調査結果（1/2）

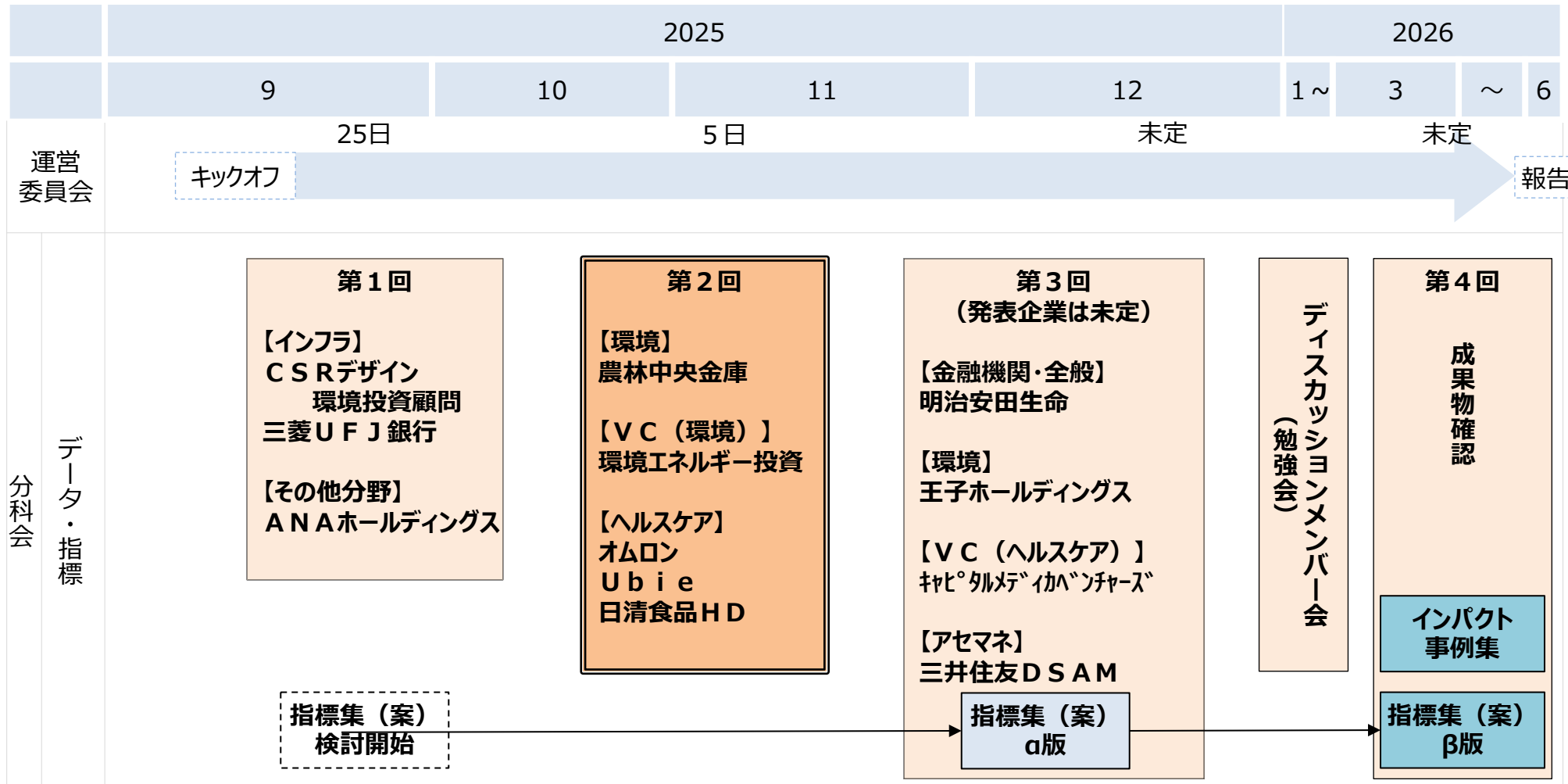
項目	主な回答
第1回分科会の満足度	平均4.125（5段階中）【出席者（回答者）の満足度を5～1点で指標化して算出】 【非常に役に立った（非常に興味深かった）】 - 次期中計に向けて社会的インパクトの議論の最中であるため、QOLファンドの事例は弊社も関与している事案であり、本日の図、フローチャートの認識を持っているが、<u>三菱UFJ銀行様の経済価値への繋げ方、ANA様の不動産以外のインパクト事例など有意義でした。</u> <u>実際に取り組みをされている（されようとしている）関係各社の事例が興味深かったことと、彼・彼女らにスポットを当てるきっかけを作られていることには非常に意義があるとおもっています。</u> - 事業者、投資家それぞれの視点からみた、インパクト指標の作成、活用に向けたポイントや課題を、興味深い事例と共に理解することができたため 【役に立った（興味深かった）】 - 年間スケジュールや成果物の説明をいただけて今期の活動のイメージがわいたため。 <u>自社での指標・KPI設定等について検討する中でいろいろ悩んでいるので、様々な事例や他社様が抱えている課題感等をご共有いただけて勉強になりました。</u> - インパクト志向金融宣言の参加者以外のメンバーも多く、不動産といった領域の広がりもあり、<u>インパクトコンソーシアムならではの裾野の広がりを感じたため。</u> - 異なる立場のご意見を直接拝聴できる点が良かったです。 【あまり役に立たなかった（あまり興味を持てなかった）】 - プレゼンは勉強になったが、<u>議論・コメントの時間がもう少しあるとよかった。</u>
ディスカッションメンバーによるパネルディスカッションを踏まえたご意見やコメント	- 自社の取り組みも先進企業と概ねずれていないかと思い、そういったベンチマーク的な意味合いでも参加する価値があるのではと思いました。 <u>ネガティブインパクトの開示は、分析結果の信頼度を高める（グリーンウォッシュと非難されるリスクを軽減する）という面で必要度が高い</u>と思っており、指標集に入れるか入れないかの議論を含め今後できると良いと思っております。

第1回データ指標分科会アンケート調査結果（2/2）

項目	主な回答
指標集に求めるもの （複数回答）	指標を活用した取組事例が掲載されている（76%） 社会課題がわかりやすい（72%） アウトプット指標とアウトカム指標の区別が明示されている（56%） 政府の計画・目標が一覧化されている（24%） 掲載指標数が多い（12%）、SDGsとの関連性が分かる（4%）
環境・ヘルスケア・インフラ以外の関心の高い分野 （複数回答）	人材・働き方（64%）、食料・農業（48%）、中小企業支援（32%） 教育・子育て（28%）、すべての人の権利保障（20%）、女性活躍推進（20%） その他（地域活性化）（4%）
IMM（インパクトの特定・測定・管理）の実践において困っていること（複数回答）	指標の設定やその計測・集計（72%）、事業と結びつくインパクトの特定（40%） 社内外へのアピールの方法（36%）、ロジックツリーの作成（16%）
今後の会議運営・内容に関する意見等	- 一般社会が置き去りにならないよう、取り組みやすい、わかりやすいものを希望します。 - インパクト指標設定の目的について改めて認識を共有できると良いと思いました。大企業等、事業が確立している企業にとっては開示が主眼となりがちであり、結果としてのKGIを指標として測定することを重要視する傾向があると思います。一方で、初期のスタートアップ等、これから事業を作り上げていくフェーズにおいては、事業成長とアウトカム創出を整合させるKPI設定と、それを測定して改善するマネジメントを実践し続けることに重きが置かれている。 - インパクト指標は、そのビジネスの実施主体以外の投資家や支援機関（当方のような自治体も含む）にとっては、専門的で複雑なものとなる場合があり、それが適切に評価されるために、指標集には「わかりやすさ」「区別のしやすさ」が必要と感じます。 - 指標集が使われるためには、いろんな方を巻き込みながら作っていくことも大事だと思います。

スケジュール（案）

- 分科会は年間4回を計画（下表記載のプレゼン企業は未定）
- 11-12月には、ディスカッションメンバー会を予定。内容を整理のうえ後日公表を予定



3. ディスカッションメンバーによる取組紹介

3-1 農林中央金庫

3-2 環境エネルギー投資



4. グローバルヘルスのための インパクト投資イニシアティブ

5. ディスカッションメンバーによる取組紹介

5-1 オムロン

5-2 U b i e

5-3 日清食品ホールディングス

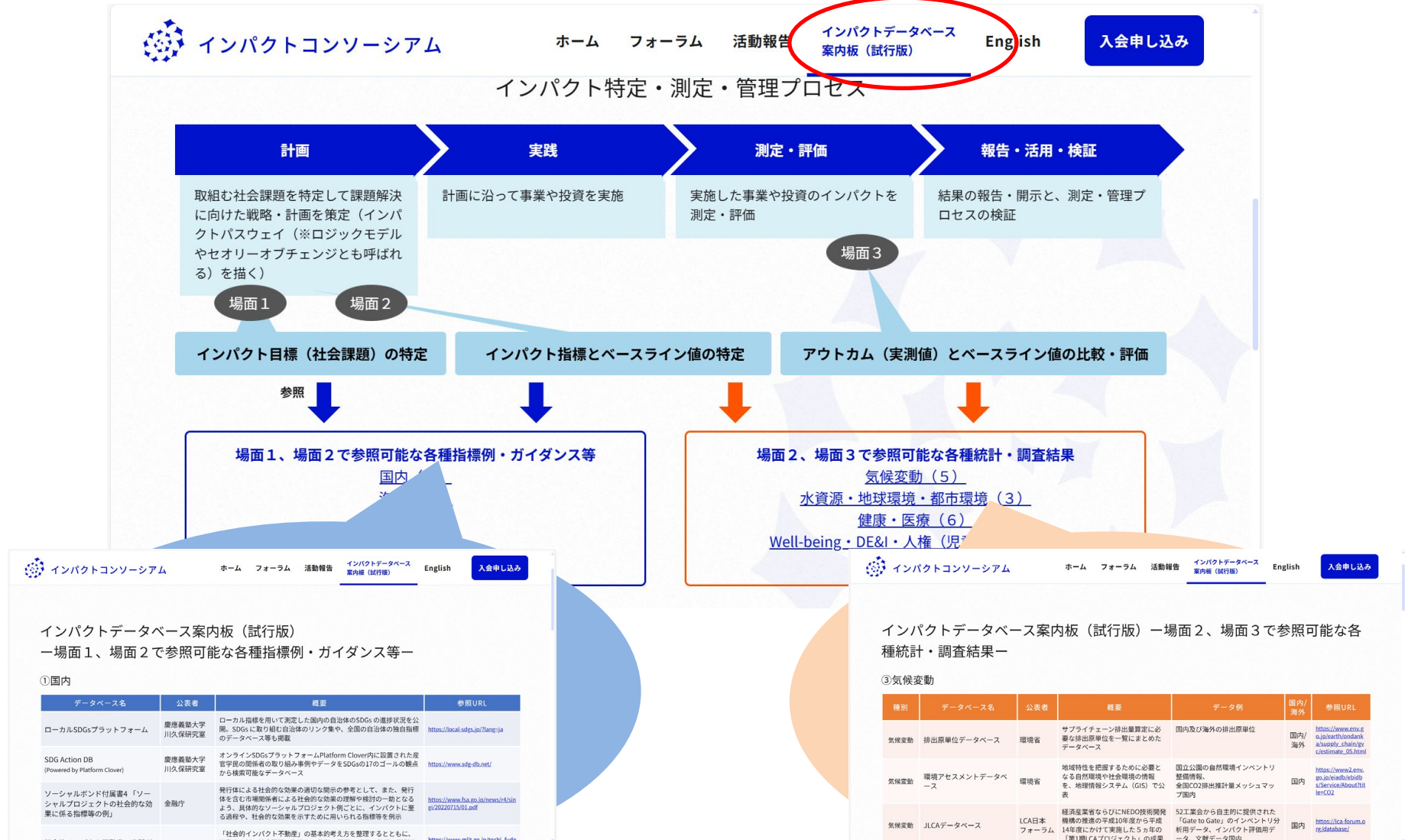


6. 事務局連絡／閉会

データベースの案内板（試行版）のご案内（11月25日～）

データベースの案内板（試行版）の実装【11月25日～】

- 第 1 期に行った既存データベースを整理したデータベースの案内板（試行版）を展開



Q. ESG関連業務（インパクト事業・ファイナンス等）に関する業務歴・年数を教えてください
※例：インパクト事業会社への勤務年数、サステナブル・インパクトファイナンス従事年数

- a. 未勤務・未経験
- b. ～1年
- c. 1年～5年
- d. 5年～10年
- e. 10年～15年
- f. 15年～20年
- g. 20年～

Q. 第2回までのプレゼン内容・議論のレベル感に対する感想を教えてください

- a. とても簡単である（インパクト事業・ファイナンスの高度・先進的な理論に注力してほしい）
- b. 簡単である（議論や説明のスピードを上げて、高度な議論をしてほしい）
- c. 適切なレベルである（議論や説明の内容やスピードはちょうどよい）
- d. 難しい（議論や説明をゆっくり行ってほしい）
- e. とても難しい（スライドの数を減らしたり、議論よりも説明・講義の時間を長くしたりしてほしい）